

令和 7 年度入学者選抜学力検査問題

社 会

(5 時間目 50 分)

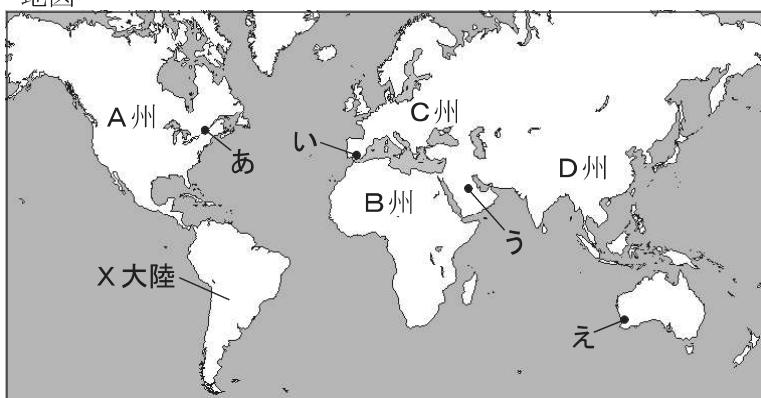
注 意

- 1 問題用紙と解答用紙の両方の決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 2 問題用紙は開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 3 問題は 1 ページから 6 ページまであり、これとは別に解答用紙が 1 枚あります。
- 4 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号		氏 名	
------	--	-----	--

1 次の地図と図、表を見て、(1)～(5)の問い合わせに答えなさい。

地図



※ロシア連邦はC州に位置づける。

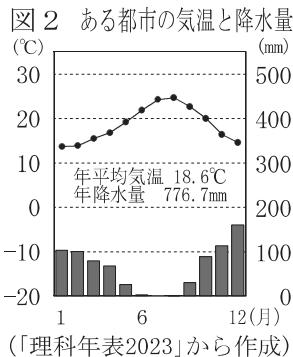
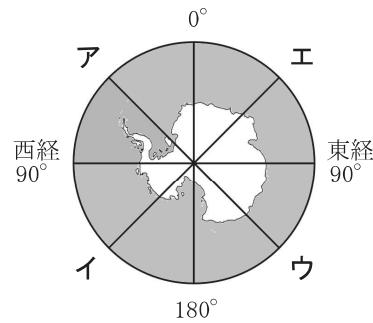


表1 A～D州の比較

州	人口 (百万人)		一人あたり CO ₂ 排出量(t)
	1995年	2020年	
オ	719	1 361	0.8
カ	728	746	6.2
キ	3 438	4 664	4.0
ク	455	594	8.9

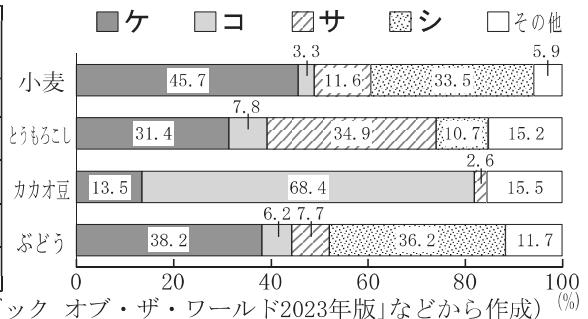
(表1, 図3は「データブック オブ・ザ・ワールド2023年版」などから作成)

図1 地球儀をある角度から見た模式図



※経線は45度ごとに引いてある。

図3 世界に占める各州の生産割合(2020年)

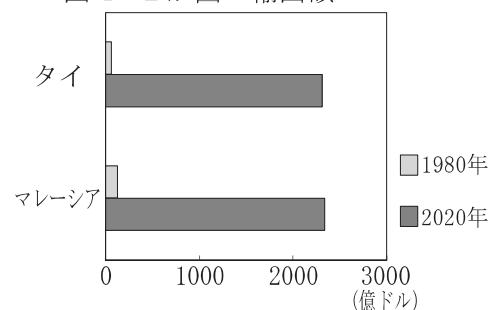


- (1) 地図のX大陸の名称を書きなさい。また、図1のア～エのうち、X大陸を通る経線を、一つ選んで記号を書きなさい。
- (2) 図2は、地図のあ～えのいずれかの都市の気温と降水量を表したものである。図2が表している都市を、あ～えから一つ選んで記号を書きなさい。
- (3) 表1のオ～クは、地図のA～D州のいずれかを示したものである。B州にあてはまるものを、オ～クから一つ選んで記号を書きなさい。
- (4) 図3のケ～シは、地図のA～D州のいずれかを示したものである。C州にあてはまるものを、ケ～シから一つ選んで記号を書きなさい。
- (5) 表2と図4は、D州に属する、タイとマレーシアを比較したものである。2か国に共通して見られる変化を、表2と図4から読みとり、解答欄にしたがって書きなさい。

表2 2か国の輸出品(上位5品目)の割合(%)

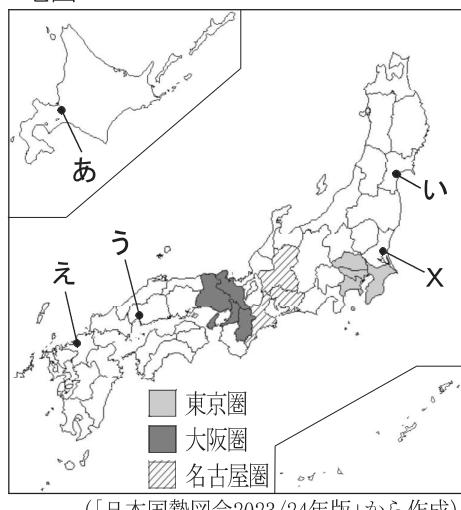
タイ		マレーシア	
1980年	2020年	1980年	2020年
米 14.7	機械類 31.4	原油 23.8	機械類 43.4
野菜 12.6	自動車 9.9	天然ゴム 16.4	石油製品 6.1
天然ゴム 9.3	金(非貨幣用) 5.8	木材 14.1	パーム油 4.2
すず 8.5	プラスチック 4.1	機械類 10.7	衣類 4.2
とうもろこし 5.4	ゴム製品 3.2	パーム油 8.9	精密機械 4.2

図4 2か国の輸出額



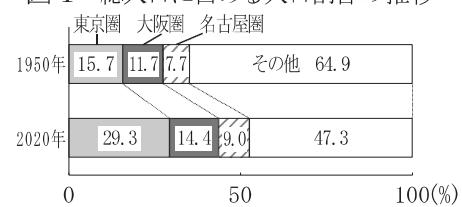
2 次は、生徒が日本のさまざまな地域を調べるために準備した、地図と写真、図、表である。これらを見て、(1)～(4)の問い合わせに答えなさい。

地図



写真

図1 総人口に占める人口割合の推移



(総務省資料から作成)

表1 4道県の比較(2021年)

項目 道県	人口 (千人)	農業産出額 (億円)	鉄鋼業出荷額 (億円)	*航空国内線 旅客数(千人)
ア	5 124	1 968	10 492	9 930
イ	5 183	13 108	4 801	12 102
ウ	2 780	1 213	13 930	984
エ	2 290	1 755	1 892	1 651

*各道県にある空港の旅客数の合計 (「データでみる県勢2024年版」などから作成)

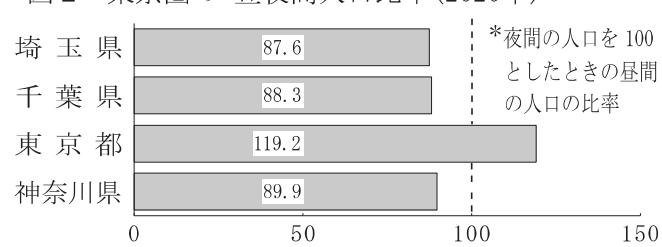
- (1) 地図のXが示す県庁所在地名を書きなさい。
- (2) 右のメモは、生徒が地図と写真、図1をもとにまとめたものである。
 - ① **A**にあてはまる語を書きなさい。
 - ② **B**にあてはまる語を、一つ選んで記号を書きなさい。

ア 台地 イ 丘陵 ウ 扇状地 エ 三角州
- (3) 表1は、地図のあ～えの都市を含んだ4道県についてまとめたものである。え市を含んだ道県を示すものを、表1のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。
- (4) 表2と図2は、地図に示した東京圏の都県に関するものである。他県と比較した東京都の特色を、表2と図2から読みとれることを関連づけて書きなさい。

表2 東京圏の事業所数と大学数(2021年)

項目 都県	事業所数	大学数
埼玉県	235 126	27
千葉県	187 530	27
東京都	636 132	143
神奈川県	289 668	31

図2 東京圏の*昼夜間人口比率(2020年)



(表2、図2は「データでみる県勢2024年版」などから作成)

3 次は、わが国と諸外国との関わりとその影響について考えるために、生徒がまとめた略年表の一部である。これと資料、表を見て、(1)～(12)の間に答えなさい。

西暦	600	古代	800	1000	1200	1400	1600	1800	1900	現代
わが国と東アジア諸国との関わり										
①	古墳が造られる	②	東大寺の建立	白村江の戦いで敗退	主なできごと	③	琉球王國の成立	④	わが国と東アジア諸国との関わり	⑤
⑥	写真1 大仙古墳	写真2 正倉院宝物（一例）	表1 15世紀ごろのアジア諸国主な輸出品と輸出先	資料1 正倉院宝物（一例）	資料2 幕府の動き	資料3 この度のモリソンの勢力はレザノフの比ではない。非法の販扱いをすれば、どのようならぬが生ずるか、実に恐るべきことである。（露野長英改修物語から部分翻訳）	資料4	資料5	わが国と欧米諸国との関わり	⑦
わが国とアジア諸国との関わり										
⑧	地図	⑨	琉球王國の改革	モリソン号事件	天保の改革	モリソン号事件	日清戦争	第一次世界大戦	世界恐慌	戦後の国際関係
島原の暴動	島原・天草制一揆まる	ラクスマン来航	日米和親条約	殖産興業の推進	日露戦争	わが国を取り巻く国際関係	ボツダム宣言	サンフランシスコ和平条約	日ソ共同宣言	日中共同声明

(1) 年表の⑦に関して、写真1の古墳が造られたころの社会の様子を、一つ選んで記号を書きなさい。

ア 朝鮮半島から移り住んだ人々が、稲作を伝えた イ 国が百余りあり、中国に朝貢する国もあった

ウ 豊作を願い女性をかたどった土偶がつくられた エ 王と有力な豪族たちが連合し政権をつくった

(2) 年表の⑧の後に、西日本に山城や水城を築き、改革を進めた人物を、一つ選んで記号を書きなさい。

ア 推古天皇 イ 恒武天皇 ウ 天智天皇 エ 白河天皇

(3) 年表の⑨について述べた次の[A]、[B]においてはまる語の正しい組み合わせを、一つ選んで記号を書きなさい。

正倉院宝物には、[A] やンドなどから中国に伝わり、[B] が持ち帰ったとされるものが見られる。

ア A 西アジア B 遣隋使 イ A ヨーロッパ B 遣隋使 ウ A 西アジア B 遣唐使 イ A ヨーロッパ B 遣唐使

(4) 年表の⑩に関して、このとき整備された港の位置を、地図の⑧～⑩から一つ選んで記号を書きなさい。

ア A 日本や明、東南アジアの間に位置している。例えば、東南アジアから日本や明へ中継貿易を行って来た。 イ 日本や明、東南アジアの間に位置している。例えば、東南アジアから日本や明へ中継貿易を行って来た。

(5) 資料1は、年表の⑪に関して、生徒が表1をもとに、琉球王国の貿易について白地図に書き込んだものである。[C] に入る適切な内容を、具体的な品目名を用いて書きなさい。

(6) 中世の社会や経済に関する説明として適切なものを、一つ選んで記号を書きなさい。

ア 同業者ごとに株仲間をつくり、営業を独占した イ 定期市が各地に生まれ、場所や日数も増えた

ウ 五街道が整備され、飛脚が荷物や手紙を運んだ エ 金座や銀座で貨幣が造られ、全国に流通した

(7) 年表の⑨に関する資料2の[A]、[B]、[C]にあてはまる語をそれぞれ書きなさい。

(8) 年表の⑩に関する問題である。

- ① 資料3が批判している幕府の対応に関する説明として適切なものを、一つ選んで記号を書きなさい。
- ② この時期のわが国のできごとに関する説明として適切なものを、一つ選んで記号を書きなさい。

ア 全国を測量して日本地図を作った イ 町人の生活が浮世草子に描かれた

- ウ 茶の習慣が茶の湯として流行した エ 新聞や雑誌の発行が急速に増えた

D に次は、年表の⑫の時期のわが国の産業革命の様子について、生徒が表2をもとに考察したものである。

表2 貿易額上位2品目の割合(%)
1885年 繸糸17.7 絹花28.2
1899年 砂糖15.9 砂糖 8.0
生糸35.1 生糸29.1
緜糸18.0 緜糸13.3
(「日本貿易精要」から作成)

③ 1888年と日本との貿易拒否

④ 通商などの会議に招かれず

⑤ 中国（中華民国いすれも）・中華人民共和国・参加の対象外

⑥ 朝鮮（日本と交戦状態になかつたため）

(12) 次は、年表の⑬の時期のわが国の動きについて、生徒が資料5と表3をもとに考察したものである。

E に入る適切な内容を、記号を用いて書きなさい。

4 次は、それぞれのテーマについて、生徒が調べたことをまとめたものの一部である。これらを見て、(1)～(13)の問い合わせに答えなさい。

多様性に満ちた社会づくりに向けて		
資料1 秋田県の取り組み 秋田県では、 A の解消を図り、全ての県民が個性を尊重し合いながら多様な文化や価値観を受け入れ、互いに支え合う社会の形成を目指して、「秋田県多様性に満ちた社会づくり基本 <u>a</u> 条例」を制定しました。 <small>(秋田県教育委員会資料から作成)</small>	資料2 日本国憲法 第14条 すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、 A さ れない。	図1 7か国の合計特殊出生率と男女間格差 (2020年) <p>※ジェンダーギャップ指数：男女の性差によって生じる格差のこと。数値が1に近いほど平等であることを示している。</p> <p>(内閣府資料から作成)</p>
◇現代社会では、多様性を重視した取り組みが進んできているが、今後解決していくべき課題も見られる。 ◇大まかに見ると、男女間が平等な国ほど B 傾向がある。		

- (1) 資料1と資料2の**A**にあてはまる語を書きなさい。ただし、**A**には同じ語が入る。
- (2) 下線部aを定めることができる機関を、すべて選んで記号を書きなさい。
 ア 市議会 イ 内閣 ウ 国会 エ 県議会 オ 裁判所
- (3) **B**に入る適切な内容を、図1から読みとり書きなさい。

わたしたちの政治参加について		
◇ <u>b</u> 国会議員の選挙で当選した立候補者は、わたしたち国民の代表者として国会で活動する。 ◇国の政治を動かす <u>c</u> 内閣総理大臣は、国会議員の中から選出される。	図2 わが国の選挙制度 	図3 令和3年衆議院議員総選挙 年代別投票状況 <p>■: 有権者数 ■: 投票者数 (総務省資料から作成)</p>
◇図3で年代別の投票者数を比べると、例えば、70代は20代より投票者数が約 C 倍多い。また、30代以下は40代以上の年代よりも有権者数が D ため、民意が選挙結果に反映されにくくなることなど、民主主義に関わる課題が見られる。		

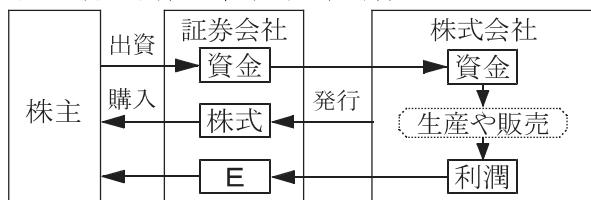
- (4) 下線部bについて、図2が表している選挙制度を書きなさい。
- (5) 下線部cを主な内容として開かれるものを、一つ選んで記号を書きなさい。
 ア 常会 イ 臨時会 ウ 特別会 エ 公聴会
- (6) **C**にあてはまる数値を、一つ選んで記号を書きなさい。
 ア 1.2 イ 2.5 ウ 5 エ 10
- (7) **D**に入る適切な内容を、次の語を用いて書きなさい。〔投票率〕

経済活動とわたしたちの社会生活

<企業の経済活動について>

◇株式会社は株式の発行によって資金を集め、財や④サービスを生産している。株式会社の利潤は、会社に残す部分を除き、**E**として株主に分配される。

図4 株式会社の仕組み（一部）

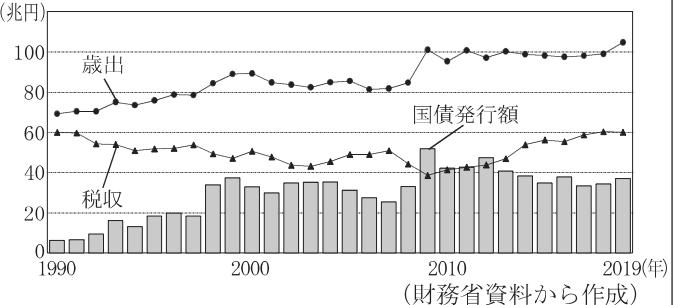


<政府の経済活動について>

◇道路や公園、水道などの**F**の整備や、警察や教育などの公共サービスは、利潤を目的とする**G**にすべての供給を任せのではなく、政府が税金等を使って行っている。

◇わが国は歳出に対して**H**状況が続いているおり、財政構造の見直しが進められている。

図5 わが国の財政の推移



<経済活動による諸問題について>

◇2022年では、世界の総人口のうち、約**I**億人が栄養不足の状態にある。

◇食料援助を必要とする人々がいる一方、食料を余らせ捨てている国がある。わたしたち一人一人が世界とeわが国の食品廃棄の現状を知り、持続可能な社会を築くため行動することが大切である。

図6 世界の*栄養不足人口の割合

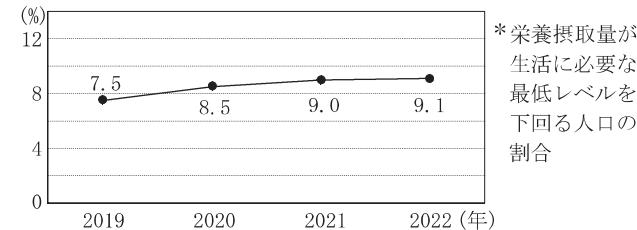


図7 5か国の人あたり*食品廃棄物量（推計）

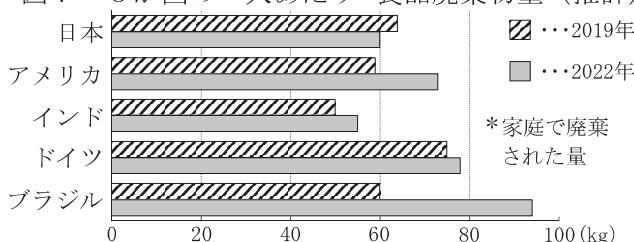


表 わが国の*食品廃棄物量と国連による世界への食料援助量との比較（2022年）

日本全体の食品廃棄物量 (一人あたりの量×日本の総人口)	739万t
世界への食料援助量 (国連世界食糧計画による援助)	480万t

*家庭で廃棄された量

(図6, 図7, 表は国連資料などから作成)

(8) 下線部④にあたるものを見つけて記号を書きなさい。

ア 衣類 イ 食料品 ウ 税金の納付 エ 鉄道の利用

(9) 図4の**E**にあてはまる語を書きなさい。ただし**E**には同じ語が入る。

(10) **F**と**G**にあてはまる語の正しい組み合わせを、一つ選んで記号を書きなさい。

ア F 社会資本 G 公企業 イ F 社会資本 G 私企業

ウ F 社会保険 G 公企業 エ F 社会保険 G 私企業

(11) **H**に入る適切な内容を、図5から読みとり、次の語を用いて書きなさい。 [発行]

(12) **I**にあてはまる数値を、図6を参考にして求め、一つ選んで記号を書きなさい。

ア 2 イ 7 ウ 12 エ 17

(13) 下線部④について、図7と表から読みとり、解答欄にしたがって書きなさい。